

資金繰りに関する財務の基礎知識

図解と事例で理解する資金繰り

研修期間 2026年2月17日(火)～2月19日(木)

定員 / 受講料 25名 / 32,000円

日数 / 時間数 3日 / 21時間

対象者 経営幹部、管理者

- 資金管理の仕方を学びたい方
- 財務の視点から経営判断力を高めたい方
- 財務面での金融機関が見るポイントを学びたい方

研修のねらい

企業の経営基盤を強化し、安定的に事業を継続するためには、資金の流れを理解することが重要です。また、資金繰り予想には、税制の基礎知識が不可欠です。

本研修では、持続的成長を目指すため、企業経営における資金の重要性、収益との関係について学びます。また、設備投資や資金繰りの考え方、資金繰り表の作成方法について演習を交えながら学びます。

研修の特徴

- 企業経営における収益と資金の関係、金融機関が着目するポイントについて学びます。
- 様々な事例から資金の流れを把握し、資金繰り、資金構造について考えます。
- 演習を通じて資金繰り表を作成し、資金の側面から経営改善策について検討します。

※本研修では、コースNo.29「決算書の読み方講座（財務初級編）（札幌開催）」やNo.19「財務分析の進め方（財務中級編）」も併せて受講されるとより効果的です。

カリキュラム概要 ※カリキュラム内容は、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

日付	時間	科目	内容	講師（敬称略）
2/17 (火)	9:50～10:00	開講式 オリエンテーション		
	10:00～12:00	会計・財務管理の重要性	企業経営において適切な経営判断を行うために、必要となる会計・財務論点を学びます。 ◆ 企業経営と資金構造 ◆ 利益と資金の関係 ◆ 企業における資金の流れ ◆ 金融機関との交渉のポイント	長尾公認会計士事務所 代表 公認会計士 長尾 義敦
	13:00～18:00	財務管理の基本的な考え方	経営における財務管理の重要性について、資金管理と収益性との関係について学び、円滑な資金の流れをつくるために必要な知識を習得します。 ◆ 運転資金の影響 ◆ 税金（法人税・消費税）の基礎と資金繰りへの影響	
	18:15～19:45	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
2/18 (水)	9:00～12:30	設備資金と資金調達	売上の変化や設備購入における利益・資金計画の考え方と注意点について、事例と演習を交えながら理解します。 ◆ 運転資金の影響（固定資産取得の収支予測） ◆ 設備投資計画の基礎 ◆ 資金調達、優遇税制、補助金利用の例 ◆ 成長性と安全性を両立させる設備投資・経営戦略のポイント	前掲 長尾 義敦
	13:30～18:00			齋竹公認会計士事務所 代表 公認会計士 齋竹 亘
2/19 (木)	9:00～12:30	事業継続のための資金管理・資金繰り	資金繰りの考え方、資金繰り表の作成について、様々な事例を通じて学びとともに、ケース教材で資金繰り表作成から課題の抽出、改善策検討を行います。 ◆ 手詰まりを防ぐ資金繰りのポイント ◆ 資金繰り表の作成方法 ◆ 資金繰り表の見方・改善への活かし方 ◆ 補助金を活用する場合の設備資金計画と資金繰り表	前掲 長尾 義敦
	13:30～16:00			前掲 齋竹 亘
	16:00～16:20	終講式		

講師紹介



長尾 義敦（ながお よしあつ）長尾公認会計士事務所 代表／公認会計士

2002年公認会計士試験合格後、朝日監査法人（現 あずさ監査法人）に12年勤務し、2014年長尾公認会計士事務所として独立。

<主な業務内容・実績>

事業再生・経営改善計画策定支援、M&A支援、事業承継支援、研修講師（経営者研修、支援機関研修）



齋竹 亘（さいたけ わたる）齋竹公認会計士事務所 代表／公認会計士

2002年公認会計士試験合格後、あずさ監査法人に5年勤務し、その後、証券会社及び投資ファンドで管理業務を行う2013年齋竹公認会計士事務所として独立。2015年にアクセルパートナーズ税理士法人を設立。

<主な業務内容・実績>

事業会社の顧問業務、投資ファンドの会計業務、法定監査、社外役員、研修講師（経営者研修、支援機関研修）